

UACJグループの将来ビジョン

～「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現に向けて～

2014年3月31日
株式会社UACJ



1. 将来ビジョン

2. 板事業の方針と施策

- (1) 技術開発の推進とグローバルマーケットへの展開
- (2) グローバル供給体制の整備
- (3) 最適生産配分の実施
- (4) UATH ラヨン製造所の増強と活用

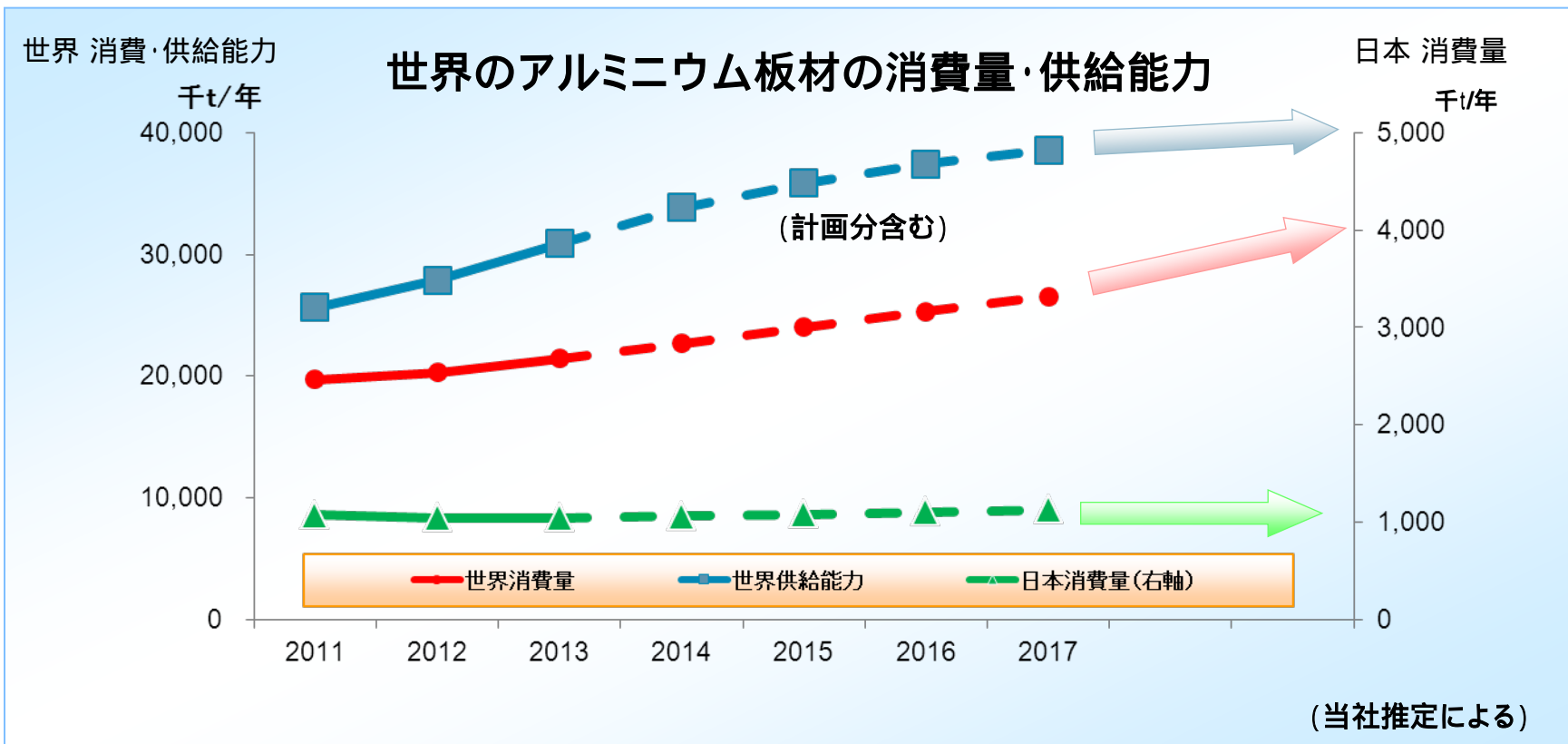
3. 板事業以外の各事業の方針と施策

4. 統合効果の実現

5. 将来ビジョン実現に向けた取り組み

6. 中期経営計画の策定について

1. 将来ビジョン



世界のアルミニウム板圧延品需要は確実に成長する見通し
 東南アジア、東アジアにおける経済成長による需要増加
 欧米での自動車軽量化などによる需要増加

世界の各地域で大型設備投資計画が進行

中国、韓国などのアルミニウム圧延メーカーによる大型設備投資の計画
欧米メーカーによる自動車・航空機分野への投資

欧州

軽量化ニーズにより
自動車向けの需要が増加

Novelis、Aleris、Constelliumなどが
当分野での仕上設備などの増強を計画

アジア・中東

人口増加、所得増加により、缶材、箔用などの
消費材分野、自動車分野、建設分野など
すべての分野で圧延品需要が増加

Novelis Korea、中国圧延メーカーなどが
大型増産投資、新規工場建設を計画

北米

軽量化ニーズにより
自動車向けの需要が増加

Alcoa、Novelisなどが
当分野での仕上設備などの増強を計画

UACJグループが将来目指す企業の姿

スローガン

アルミニウムの持つ可能性を最大限に発揮し、
社会と環境に貢献する企業になる

< 目指すべき姿 >

すべてのステークホルダーに信頼され、共存、発展できる企業

世界のすべての地域の顧客から、存在価値を認められる企業

各地域の特性に合った製品を的確に開発、供給し、それぞれの地域に
根差す真のグローバル企業

統合によるリソースの最大活用

当社グループの強み

マーケットイン
指向

きめ細やかな
サービスの提供



技術開発力

コスト競争力

グローバル供給力

日本の技術・サービスを生かし、日本発のアルミニウムメジャーグループとして、これらの特徴を優位性に変え、グローバルマーケットで認知されるグループとなる

世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ

**新規成長分野・成長市場への積極的な
グローバル展開**

事業再構築によるコスト競争力の強化

新技術・新製品開発の推進

2. 板事業の方針と施策

環境、資源エネルギー、
輸送、IT分野などの
成長分野への対応

グローバル
マーケットへの対応

アルミニウムの新たな
可能性の追求

研究開発力、生産技術力の融合

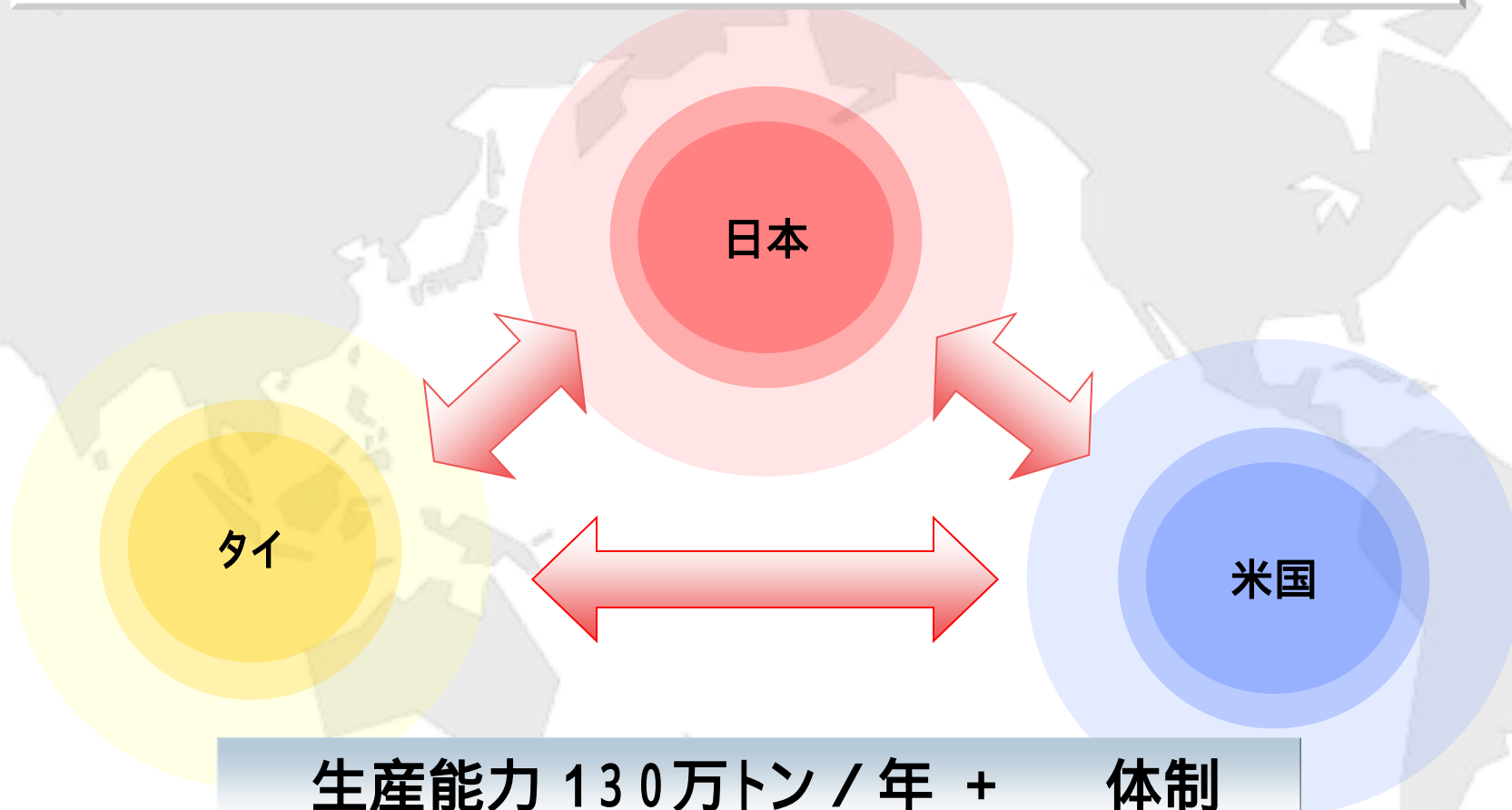
高機能製品・
新規製品の開発

生産技術・プロセス改善
によるコスト低減

基盤・基礎研究の強化

**優れた製品、最先端技術を当社世界拠点に展開し
グローバルマーケットへ供給**

グローバルマーケットに対応する最適生産体制を構築
日本、タイ、米国を基軸に地域間相互補完体制を整備



(2) グローバル供給体制の整備

主要板製品の主なグローバル供給体制

地域 主要板製品	日本	中国・韓国	東南アジア	インド	中東・ アフリカ	欧州	米州
缶材	福井	福井	UATH	UATH	UATH		TAA
		UATH					
自動車用 熱交換器材	名古屋 日光	乳源	UATH	UATH	UATH	AFSEL	UATH
		UATH					AFSEL
自動車用 パネル材	名古屋 深谷	需要動向に応じ供給対応を検討					Constelliumとの 合併事業 を検討中(北米)
印刷用板材	名古屋	名古屋	名古屋	BAL	BAL	BAL	BAL
LNG船用 厚板	福井 深谷	福井 深谷					
一般厚板	深谷	深谷	深谷				
		UPIA					

注) UATH: UACJ (Thailand) Co., Ltd. (タイ)、TAA: Tri-Arrows Aluminum Inc. (米国)、乳源: 乳源東陽光精箔有限公司 (中国)、
BAL: Bridgnorth Aluminum Inc. (イギリス)、AFSEL: AFSEL S.A. (ギリシャ)、UPIA: UPIA Co., Ltd (韓国)、Constellium: Constellium N.V. (オランダ)

(3) 最適生産配分の実施

最適生産配分の実施（最適生産体制の整備）

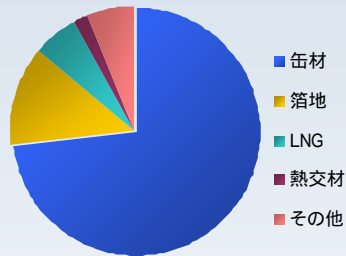
工程 拠点	鋳造	熱間圧延	冷間圧延	仕上工程	移管後の主な生産品種
福井					缶材、LNG船用厚板、航空機材 メモリーディスク用素条
名古屋					自動車用熱交換器材、自動車用パネル材、 箔地、印刷版用板材、飲料用キャップ材、フィン材 その他一般材
深谷					一般厚板、LNG船用厚板 自動車用パネルおよび一般材の仕上加工
日光					各種素条の仕上加工
UATH					缶材、自動車用熱交換器材、その他一般材
TAA					缶材 自動車用パネル材素材(検討中)

(3) 最適生産配分の実施

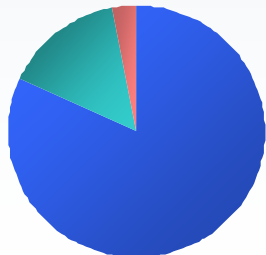
各拠点の設備能力・特長を生かし、生産品種移管により最適生産配分を実現

国内生産拠点の生産品種集約イメージ

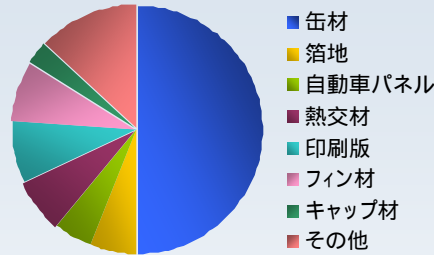
福井



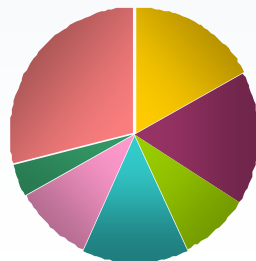
缶材とLNG船用厚板主体の
基幹工場



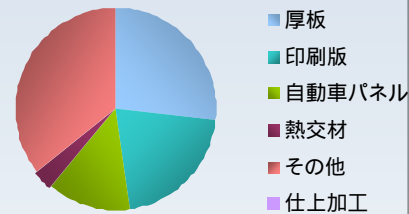
名古屋



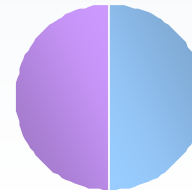
自動車材、印刷版用板材、
フィン材などの基幹工場



深谷



厚板主体の基幹工場



日光(仕上拠点)



精密特殊材主体の
仕上専門工場



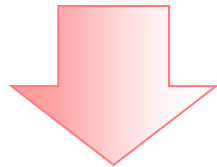
(4) UATH ラヨン製造所の増強と活用

東南アジアおよびその周辺地域のマーケットは、缶材、自動車など板圧延品の確実な成長が見込まれる

ラヨン製造所は・・・

2014年1月より第1期操業開始(冷延以降工程)

2015年度より第2期操業開始(鋳造からの一貫生産)

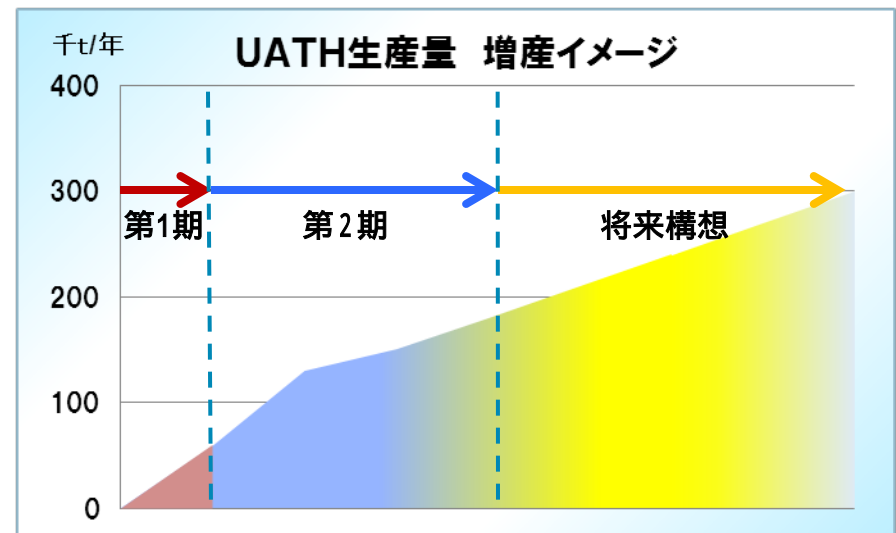
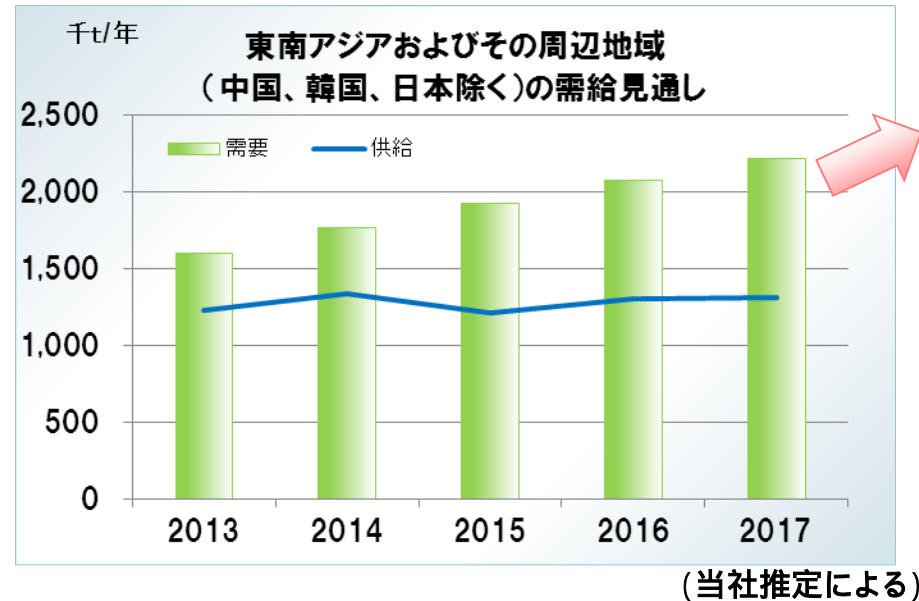


UATHラヨン製造所の将来構想

需要増加に応じ、冷延工程以降の設備増強を適宜検討

熱延能力を最大活用して生産量を拡大し、福井・名古屋と並ぶ

「アルミニウム板製造のアジアにおける基幹工場」を目指す



3. 板事業以外の各事業の方針と施策



押出事業

- ・ 最適生産体制の構築による国内最高の生産性の実現
- ・ 空調用オールアルミ熱交換器など新技术・新製品の開発の推進
- ・ 自動車分野製品を中心としたグローバル供給体制の整備

<生産拠点>
日本、チェコ、中国、
インドネシア、タイ

製箔事業

- ・ コンデンサー用、リチウムイオン電池用、PTP用箔などの戦略製品の研究開発・コスト低減による販売の拡大
- ・ 国内の最適生産体制の構築による競争力の向上
- ・ 海外事業の強化(マレーシア新拠点の活用)

<生産拠点>
日本、マレーシア

鋳鍛事業

- ・ 鋳物事業：自動車ターボチャージャー用コンプレッサーホイール事業のさらなる拡大による世界シェアトップの地位確立
- ・ 鍛造事業：国内最大級15,000tプレスの活用による拡販
フリー鍛造技術によるオンリーワン製品の開発

<生産拠点>
日本、ベトナム

銅管事業

- ・ 中国などからの輸入材に対抗できるコスト競争力の確立
- ・ 優位技術を持つ空調向け高機能製品を中心とした拡販

< 生産拠点 >
日本、中国、マレーシア

加工品事業

- ・ 加工品事業各社の協働体制の構築および連携強化
- ・ 自動車、熱ビジネスなど戦略分野での製品開発の推進
- ・ 生産拠点のグローバル展開による海外事業の拡大

< 生産拠点 >
日本、米国、中国、
インドネシア、メキシコ、タイ

4 .統合効果の実現

グローバルコスト競争力の強化に向けて

最適生産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品種移管による製造コストの低減 ・ 物流の効率化などによるコストの削減 	85億円	年額合計 150億円以上
生産技術・研究開発の融合によるコスト低減および新製品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場改善力の向上による生産性の改善 ・ 生産工程の改善などによる効率の向上 ・ 研究開発・技術力の強化 	30億円	
購買コストおよび経費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原料輸送効率の向上 ・ 燃料、資材などの集中購買の実施 ・ 事務所費用など管理費の削減 	30億円	
その他効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内の連携強化による効率化 ・ 鋳鍛、銅管、加工品などの事業への派生効果の発揮 	5億円	

確実な実現と、さらなる上積みを強力に推進

5 .将来ビジョン実現に向けた取り組み

世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ

統合効果を最大限に発揮

財務体質の改善と 成長投資の両立

- ・安定的な収益の確保と資産圧縮の推進
- ・有利子負債の削減
- ・継続的な成長投資の実施

事業体制・運営の強化

- ・環境の変化に柔軟に対応する運営体制
- ・迅速な組織再編による事業競争力の維持・強化

信頼される企業へ

- ・経営理念の実践による社会への一層の貢献
- ・コンプライアンス重視の徹底

6. 中期経営計画の策定について

**「UACJグループ中期経営計画」
～ 2014年度 第3四半期 公表予定～**

**本将来ビジョンをベースとし、
2015年度から2017年度までの3年間の
中期経営計画を策定します。**

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部 TEL:03-6202-2654 FAX:03-6202-2021

URL: <http://www.uacj.co.jp>

(東証1部 コード番号:5741)